

平成11年度第1回タンチョウ生息状況一斉調査結果

1 調査の目的及び経緯

タンチョウの生息数を調査し、その推移・状況を把握することによって、今後のタンチョウの保護管理のための基礎資料とする。

本調査は、昭和27年から毎年実施しており、今年で48年目である。

2 調査日時

平成11年12月6日(月)午前9時

3 調査地域及び調査個所

調査市町村数の推移

支庁	11年度		10年度		9年度		8年度	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	
釧路	10	10	10	10	10	10	10	
根室	4	3	4	3	4	3	4	
十勝	4	4	4	4	4	4	4	
日高	-	-	-	-	-	4	4	
網走	3	-	2	-	-	1	-	
胆振	1	-	-	-	-	-	-	
計	22	17	20	17	23	21	22	

調査個所数の推移

支庁	11年度		10年度		9年度		8年度	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	
釧路	224	79	232	77	252	71	241	
根室	36	6	35	7	39	6	38	
十勝	15	15	15	15	15	9	14	
日高	-	-	-	-	-	7	7	
網走	3	-	2	-	1	-	-	
胆振	4	-	-	-	-	-	-	
計	278	100	284	99	314	93	300	

4 調査主体及び調査協力機関等

(1) 調査主体

環境庁の委託事業として北海道が実施

(2) 調査協力機関等

関係市町村、関係市町村教育委員会、関係小・中学校、釧路市動物園、タンチョウ監視人及び給餌人、鳥獣保護員及び自然保護監視員等

調査協力者(人)

11年度 第1回

支庁	小・中学校			一般	合計
	(学校数)	(児童生徒)	(教職員)		
釧路	37校	592	127	81	800
根室	6校	64	22	29	115
十勝	6校	46	18	16	80
網走	-	-	-	1	1
胆振	-	-	-	1	1
計	49校	702	167	128	997

調査協力者数の推移(人)

支庁	11年度		10年度		9年度		8年度	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	
釧路	800	93	877	97	852	86	902	
根室	115	7	97	7	130	9	147	
十勝	80	14	80	13	104	14	112	
日高	-	-	-	-	14	16	14	
網走	1	-	1	-	1	-	-	
胆振	1	-	-	-	-	-	-	
計	997	114	1055	117	1101	125	1175	

5 支庁別観察数 (- は実施せず。 0 は実施したが観察無し。)

支 庁	11年度第1回(H11.12)				10年度第2回(H11.1)				10年度第1回(H10.12)				9年度第2回(H10.1)				9年度第1回(H9.12)			
	成鳥	幼鳥	不明	計	成鳥	幼鳥	不明	計	成鳥	幼鳥	不明	計	成鳥	幼鳥	不明	計	成鳥	幼鳥	不明	計
釧 路	400	45	0	445	604	99	0	703	496	73	0	569	499	54	58	611	448	51	0	499
根 室	4	0	0	4	5	1	0	6	16	4	0	20	4	1	0	5	33	8	0	41
十 勝	16	6	0	22	0	0	0	0	7	0	0	7	0	0	0	0	31	6	0	37
日 高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0
網 走	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-	2	0	0	2
胆 振	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	420	51	0	471	609	100	0	709	519	77	0	596	503	55	58	616	514	65	0	579

6 調査当日の気象条件 (平成11年12月6日午前9時)

支 庁	天候	気温	風向	風速	備考
釧 路	くもり	-3.3	北北東	4 m/s	釧路地方気象台
根 室	くもり	0.6	東北東	3 m/s	根室測候所
十 勝	くもり	-8.2	南	1.2 m/s	帯広測候所
網 走	快晴	-4.5	西南西	2 m/s	網走地方気象台
胆 振	くもり	-1.7	北		苫小牧測候所

7 調査結果のまとめ (助言 専修大学北海道短期大学 正富宏之教授)

- (1) 今回の調査では、総数471羽(成鳥420羽、幼鳥51羽)を確認した。
- (2) 昨年度第1回調査(平成10年12月4日実施)と比較して125羽減少した。
- (3) 調査時以外の情報から判断して、タンチョウの生息数が特に減少したとは考えにくい。
- (4) 今年の気候条件や調査当日の天候などにより、給餌場等へのタンチョウの集まりが悪く、観察数が少なかったと考えられる。
- (5) 繁殖状況については、幼鳥の全体に占める割合から判断して、例年並みであると考えられる。

8 調査結果の推移

次ページ以降の「タンチョウ生息状況一斉調査結果推移表」及びグラフのとおり